

戸田型PBL(プロジェクト型学習)の考え方2

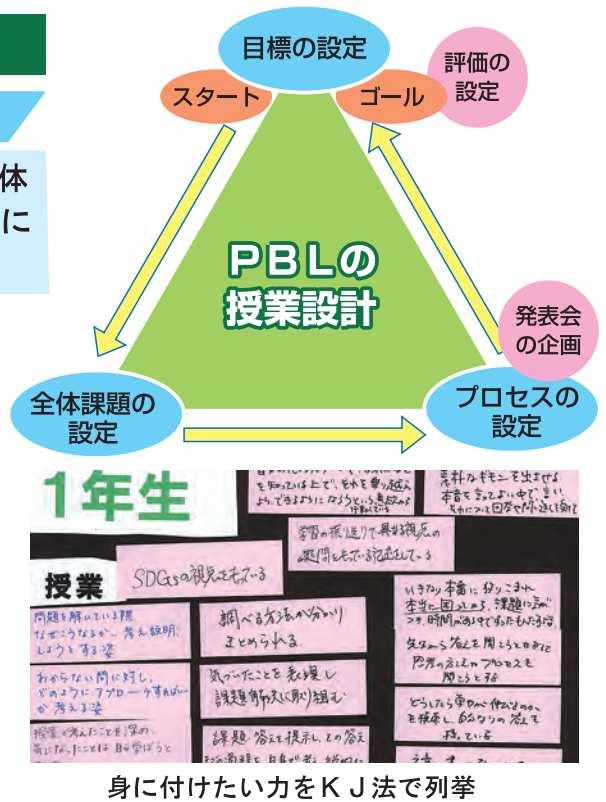
PBLの授業設計

目標の設定

児童生徒の実態やアンケート等をもとに、プロジェクト全体を通じて、子供にどのような力を身に付けたいかを明確にする。【例】KJ法等



子供に身に付けたい力を十分に検討し、設定する



身に付けたい力をKJ法で列挙

評価の設定

目標と指導と評価を結び付ける。目標—指導—評価

目標に準拠した評価や評価に基づいた指導について検討する。目標と指導、評価が一体化するように設定していく。【例】目標→戸田市のごみの減量化目標に対して、自分たちでできることを考え、家庭や地域に発信していくことを通して問題意識と目的をもって課題を追究する力を育てる。評価→戸田市のごみ問題について考えをもち、見通しをもって情報を収集したり、取捨選択したりして、自分なりの解決方法をもつ。

プロセスの設定

①課題の設定

児童生徒が課題を自分ごととして捉えられるようにすること

②情報の収集

児童生徒が常に目標を意識して情報を収集できるようにすること

③整理・分析

収集した情報から児童生徒が自分の考えをもつことができるようにすること

④まとめ・表現

他者からの視点により、自分の考えた案をブラッシュアップしたり、新たな課題を見つけ出すことができるようにすること。これからの学習や生活に生かすために振り返るようにすること。



②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現を繰り返すことがポイント

発表会の企画

活動の成果をアウトプットする方法は多様であるが、子供たちが相手意識、目的意識をもって活動を意欲的に続けられることが重要。成果物を作成することだけが発表とは限らない。

【発表会の企画例】

プレゼンテーションのポイント (プレゼンテーション大会上位入賞校の担当教諭 児童生徒の聞き取り調査より)

- ・児童生徒自身の体験活動を大切にすること。 ・児童生徒に考えさせる声かけをすること。
- ・フィードバックの回数を確保すること。

〈キーワード〉自分でできる解決法、自律した学習者の育成



平成31年度
PBL関連資料

全体課題の設定 (プロジェクト名: 身の回りの課題を自分たちで解決しよう)

★ポイント

- ①身近に存在する課題
- ②児童生徒が貢献できる課題
- ③答えがすぐに見えない課題

★キーワード

- ①自分ごと 課題意識
- ②貢献意欲 他者意識
- ③好奇心 創造性

実生活
実社会へ
つながり



ワクワク感

実生活の課題解決の追究 (児童生徒の活動)

身近に存在する問題点を見つける

①導入

自分たちの生活を振り返り、学校生活にはどのような問題点があるのか調べた。

②情報収集・整理・分析

アンケートを取って、現状を把握することにした。アンケートを整理した結果、「トイレが汚い」という問題点が多かった。

③まとめ・表現

「トイレが汚い」ことを解決すること、理由をデータを示して先生や友達に発表した。

問題点の原因を探る

④課題設定

「トイレが汚い」という学校の問題点を解決するために「どうしたらよいか」という課題を設定した。

⑤情報収集

トイレが汚れる原因を調べてみた。

⑥整理・分析

トイレの清掃の様子と汚れる原因を分析した。

⑦まとめ・表現

利用者の使い方がよくないと結論づけ、クラスで発表した。

解決策を実行する

⑧課題設定

「トイレをきれいに使ってもらうためにはどうしたらよいか」という課題を改めて設定した。

⑨情報収集

汚れる場所や日時、汚れの種類や利用者の行動等を調べた。

★清掃業者の人に話を聞く

⑩整理・分析

汚れの原因を整理し、利用者の足を置く位置が原因だと分析した。

⑪まとめ・表現

和式トイレの足を置く位置に目印となるマークを設置した。

実社会の課題解決の追究へ

⑫振り返り

目印となるマークを設置した結果がどうだったかを振り返った。

⑬課題の設定

学校の課題から地域に視点を広げ、公園のトイレをきれいに使ってもらうためにはどうしたらよいかという課題を設定した。

★みどり公園課の人に話を聞く

教師の役割と児童生徒への声かけ (例)

導入 ①

- 自分ごととしてとらえられるよう、十分な情報を与えるとともに魅力的な導入場面を設定する。
- ・学校生活の中で、みんなが困っていることは何か?
- ・〇〇さんが困っていることは何だろう?

情報収集 整理・分析 ②⑤⑥⑨⑩

- 児童生徒に見通しを持たせるための作業時間を伝える。
- 進捗状況を確認する。
- どのようにすれば、学びが深まるか声かけをする。
- ・優先して取り組まないといけないことは?
- ・もっと必要な情報は?
- ・逆の立場なら?
- ・その解決策は他の人もできる?

まとめ・表現 ③⑦⑪

- 発表する時間を設定する。
- 発表する方法を設定したり、児童生徒に考えさせたりする。
- ブラッシュアップさせる声かけをする。
- ・～さんからの意見を聞いて、どう思った?
- ・～さんの質問からやらなければいけないことは?
- ・次はどうしたらいいかな?
- ・相手に一番伝えたいことは何か?
- ・この構成で聴いている人は、わかるかな?

課題設定 ④⑧⑬

- 課題を見つけられるような時と場を設定する。(必ずしも外にでなくてもよい)
- ・問題だと感じたことは?
- ・どうしたら解決できそうかな?

振り返り ⑫

- 児童生徒に学びの変容を感じさせることができるようにする。
- ・この学習(今日の学習)で自分ができるようになったことは?
- ・この学習(今日の学習)で自分の考えが変わったところは?

児童生徒の学びが育っていくための形成的評価

- 身に付けさせたい資質・能力や本時のねらい、ルーブリックに応じたキャッチ&レスポンスをしっかりと行う。
- 本時の活動をどのように見取り、評価するのか、どのような学びにつなげていくのかを考えながら、机間指導を行う。
- ・このアンケートを取ることで、何がわかるの?
- ・この資料からわかるのはこれだけかな?
- ・自分たちの力でやってごらん。困ったときにはヒントをあげるよ。

学びの深まりがレベルアップ